

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 日本マイクロコーティング株式会社 上場取引所 大
 コード番号 5381 URL <http://www.mipox.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 折登 進 (TEL) 042-543-4711
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,573	12.3	232	653.6	236	—	216	—
24年3月期第3四半期	2,290	△1.4	30	39.3	△2	—	△60	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 286百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △141百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	21.25	21.09
24年3月期第3四半期	△5.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,171	4,041	77.4
24年3月期	5,631	3,749	66.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,001百万円 24年3月期 3,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年3月期	—	0 00	—		
25年3月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,710	21.8	274	—	264	—	222	—	21 88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) マイボックス・アブレイシヴス・インディア、除外 1社 (社名)
・プライベート・リミテッド

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期3Q	10,696,320株	24年3月期	10,696,320株
25年3月期3Q	513,728株	24年3月期	515,148株
25年3月期3Q	10,181,274株	24年3月期3Q	10,181,236株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、引き続き欧州の財政不安や中国経済の減速等により厳しい状況である一方、期の後半ではわが国の政権交代による景気回復の期待感から米ドルに対する為替が円安傾向となり、不透明な状況が続いております。

当社グループでは、経営基本方針「業界をリードする製品事業の拡充」「受託事業強化」「早い変化に対応できる経営基盤の整備」のもと、各種取り組みを進めております。

「業界をリードする製品事業の拡充」では、前期の東日本大震災での売上減からの回復に加え「ローカルフィット戦略」による成果が現れておりますが、第2四半期から引き続きパソコン需要の伸び悩みによるハードディスク関連市場、第3四半期における中国・米国での光ファイバー関連市場の需要減速により、当社グループの売上に影響がありました。

「受託事業強化」では、受託案件の受注が増加し山梨工場の稼働率が改善されました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は25億73百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

損益面においては、工場稼働率改善に伴い売上総利益率が上昇し、営業利益2億32百万円（前年同期比653.6%増）、経常利益2億36百万円（前年同期は2百万円の経常損失）、四半期純利益2億16百万円（前年同期は60百万円の四半期純損失）となりました。

① 事業別売上高の状況

事業別売上につきましては、次のとおりであります。

・製品事業

製品事業の売上高は、21億38百万円（前年同期比3.2%減）となりました。第2四半期から引き続きハードディスク関連市場、第3四半期における中国・米国での光ファイバー関連市場の需要減速により、売上は微減となりました。

・受託事業

受託事業の売上高は、4億34百万円（前年同期比437.1%増）となりました。受託案件の受注増加により、売上が増加しました。

② 所在地別売上高の状況

所在地別の業績は、次のとおりであります。

(i) 日本

日本の売上高は、19億56百万円となりました。前期の東日本大震災での売上減からの回復に加え、受託事業における受託案件の受注増加により、売上が増加しました。その結果、セグメント利益は1億42百万円となりました。

(ii) マレーシア

マレーシアの売上高は、10億12百万円となりました。ハードディスク関連市場において、第2四半期から引き続き需要減速により売上高は微増に留まりましたが、原価低減等に努めた結果、セグメント利益は1億23百万円となりました。

(iii) 中国

中国の売上高は、5億56百万円となりました。光ファイバー関連市場において、当第3四半期における需要減速がありましたが、当社グループ北米拠点からの業務移管によるポリッシングフィルムの売上が増加しました。その結果、セグメント利益は18百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は51億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億59百万円減少いたしました。主な内容は、売却による土地の減少5億38百万円、売掛金の減少67百万円、前渡金の減少91百万円、現金及び預金の増加2億44百万円等であります。

(負債)

負債の部は11億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億51百万円減少いたしました。主な内容は、買掛金の減少65百万円、短期借入金の減少5億68百万円、長期借入金の減少57百万円、前受金の減少68百万円等であります。

(純資産)

純資産の部は40億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加いたしました。主な内容は、利益剰余金の増加2億16百万円、為替換算調整勘定の増加70百万円等であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、77.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想については、平成24年11月12日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました業績予想に変更はございません。

個別業績予想の概要 (参考情報)

平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,588	20.9	168	—	82	—	8	09

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 個別通期業績予想は、平成25年2月8日に公表しました業績修正により、修正いたしました。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期累計期間により、新たに設立したマイボックス・アブレイシヴス・インディア・プライベート・リミテッドを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,597	1,253,311
受取手形及び売掛金	794,038	759,263
商品及び製品	272,663	249,584
仕掛品	339,507	342,817
原材料及び貯蔵品	132,890	119,141
繰延税金資産	12,949	13,113
未収入金	22,915	10,981
その他	118,119	27,763
貸倒引当金	△2,396	△2,093
流動資産合計	2,699,284	2,773,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,563,589	4,558,062
機械装置及び運搬具	1,165,914	1,214,002
土地	1,053,575	515,267
その他	357,127	457,747
減価償却累計額	△4,250,535	△4,395,194
有形固定資産合計	2,889,672	2,349,886
無形固定資産		
投資その他の資産	4,524	5,876
繰延税金資産	149	137
その他	44,546	48,655
貸倒引当金	△6,644	△6,644
投資その他の資産合計	38,051	42,147
固定資産合計	2,932,248	2,397,910
資産合計	5,631,532	5,171,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	188,881	123,310
短期借入金	858,000	290,000
1年内返済予定の長期借入金	117,085	119,802
未払法人税等	27,125	31,244
賞与引当金	50,670	26,926
その他	202,980	145,123
流動負債合計	1,444,743	736,408
固定負債		
長期借入金	304,939	247,019
退職給付引当金	114,678	119,802
繰延税金負債	1,954	1,516
その他	15,741	26,033
固定負債合計	437,314	394,371
負債合計	1,882,058	1,130,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,998,700	1,998,700
資本剰余金	2,953,700	2,952,612
利益剰余金	△719,528	△503,212
自己株式	△481,329	△479,944
株主資本合計	3,751,542	3,968,155
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△36,777	33,455
その他の包括利益累計額合計	△36,777	33,455
新株予約権	34,708	39,402
純資産合計	3,749,473	4,041,013
負債純資産合計	5,631,532	5,171,793

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,290,466	2,573,103
売上原価	1,432,391	1,482,530
売上総利益	858,075	1,090,572
販売費及び一般管理費	827,159	857,594
営業利益	30,916	232,978
営業外収益		
受取利息	308	1,274
受取賃貸料	15,910	17,676
為替差益	—	6,180
その他	8,469	3,958
営業外収益合計	24,688	29,089
営業外費用		
支払利息	25,999	19,008
為替差損	26,827	—
その他	5,008	6,657
営業外費用合計	57,835	25,666
経常利益又は経常損失(△)	△2,231	236,401
特別利益		
有形固定資産売却益	3,022	39,460
その他	—	159
特別利益合計	3,022	39,620
特別損失		
固定資産除却損	5,897	2,867
減損損失	15,679	—
会員権売却損	—	850
会員権評価損	11,380	—
特別損失合計	32,956	3,717
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△32,165	272,304
法人税、住民税及び事業税	25,887	56,000
法人税等調整額	2,251	△11
法人税等合計	28,139	55,989
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,304	216,315
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,304	216,315
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,304	216,315
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△80,764	70,232
その他の包括利益合計	△80,764	70,232
四半期包括利益	△141,069	286,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△141,069	286,548
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	2,011千円	5,589千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	163,126千円	138,720千円

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	日本	マレーシア	中国	北米	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	906,595	890,445	218,565	274,860	2,290,466	—	2,290,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	733,399	103,896	313,304	27,763	1,178,364	△1,178,364	—
計	1,639,995	994,341	531,870	302,624	3,468,831	△1,178,364	2,290,466
セグメント利益又は損失(△)	△84,329	94,716	5,343	1,217	16,949	13,966	30,916

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去、固定資産及びたな卸資産の未実現損益の消去による調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、将来における具体的な使用計画がなく、将来の利用見込みが極めて不透明な遊休資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。回収可能価額は、正味売却価額により測定しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において15百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注3)
	日本	マレーシア	中国	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,190,049	898,140	447,603	2,535,793	37,309	—	2,573,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	766,844	114,422	108,853	990,120	33,633	△1,023,754	—
計	1,956,893	1,012,563	556,457	3,525,914	70,942	△1,023,754	2,573,103
セグメント利益又は損失(△)	142,925	123,094	18,103	284,123	△14,167	△36,978	232,978

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米及びインドの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去、固定資産及びたな卸資産の未実現損益の消去による調整額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして記載しておりました「北米」について、事業内容の変更に伴い量的重要性が減少したため第2四半期連結会計期間において新たに設立したマイボックス・アプレイシヴス・インディア・プライベート・リミテッドとともに「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の「その他」には「北米」の売上高70,942千円、セグメント損失11,000千円が含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。